

延喜式 大木神社

石薬師の産土神(うぶすながみ)

石薬師に生まれた
人の守り神です

〒513-0012

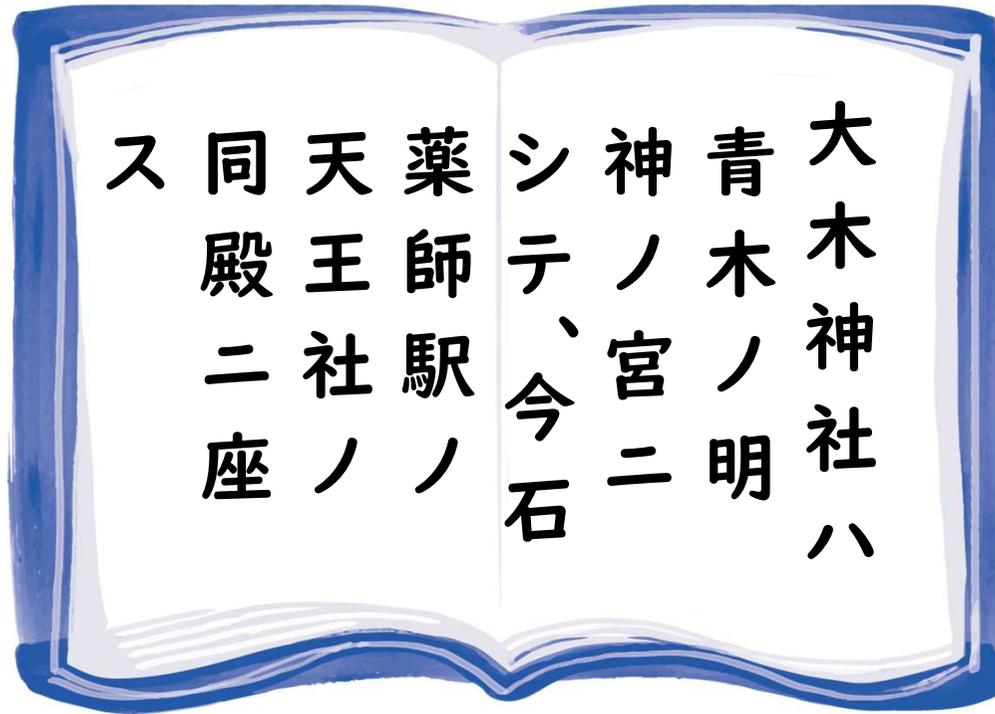
鈴鹿市石薬師町2127-3

TEL 059-374-3355

FAX 059-373-2921

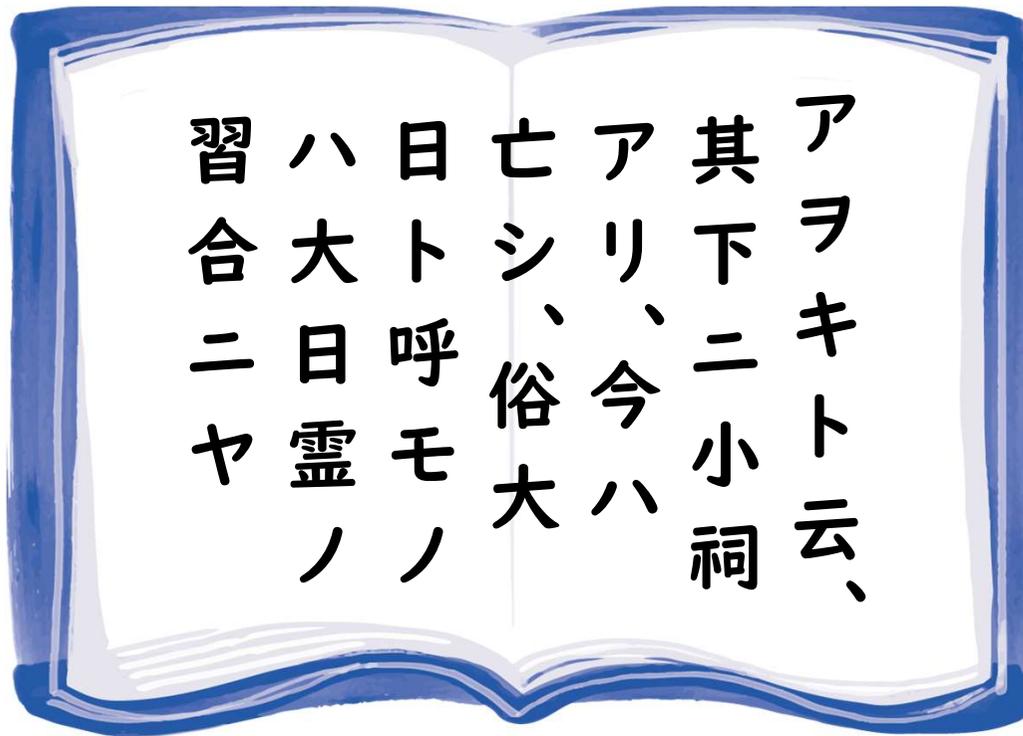


鈴鹿郡賦にこんな記述があるよ

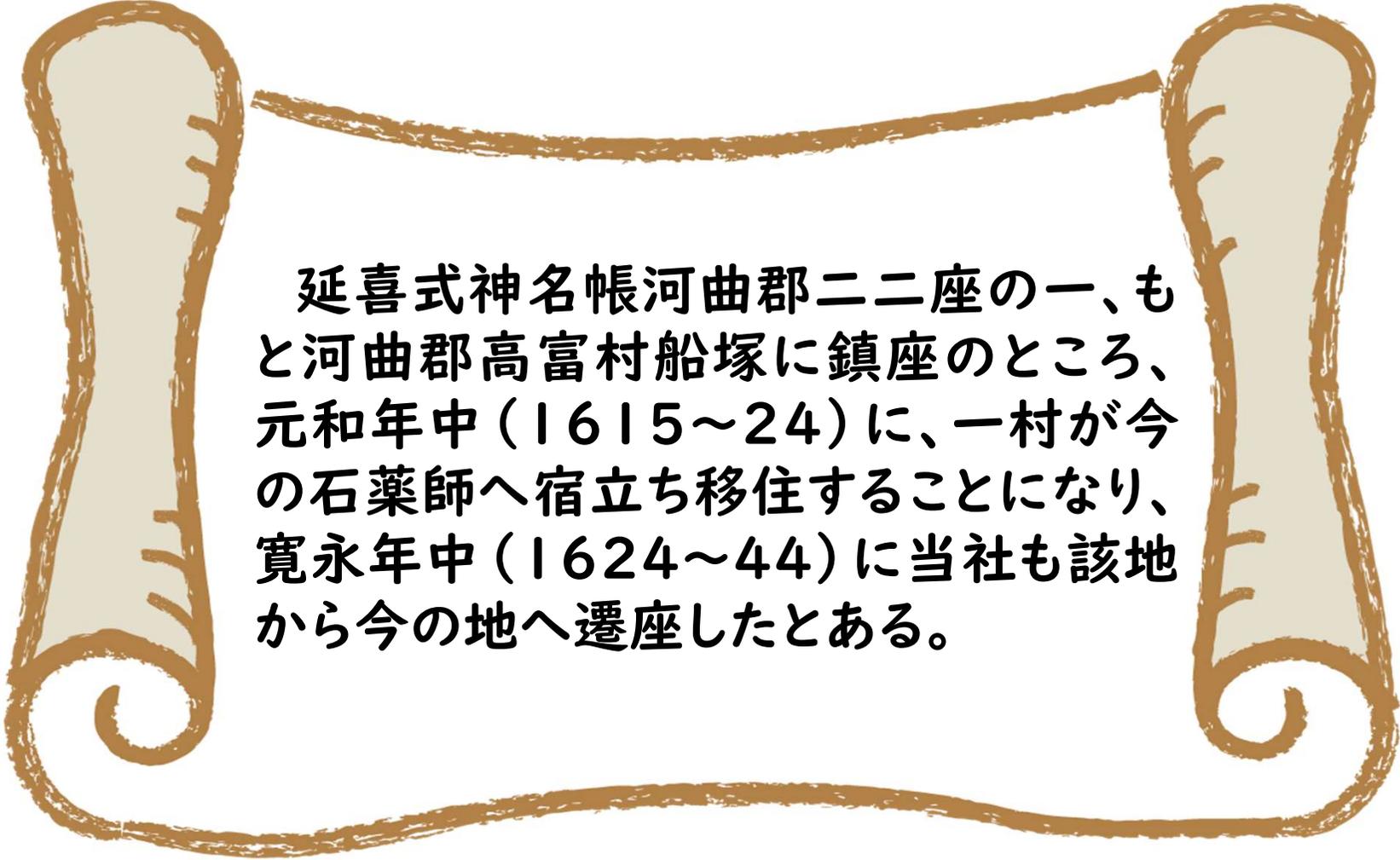


大木神社は明神であり、石薬師宿の天王社におかれてあった。

三国地誌にもこんな記述が



青木という社の下に小さな祠があった。今はもうない。俗に大日といわれているのは、いくつかの神様の集合である。



延喜式神名帳河曲郡二二座の一、もと河曲郡高富村船塚に鎮座のところ、元和年中（1615～24）に、一村が今の石薬師へ宿立ち移住することになり、寛永年中（1624～44）に当社も該地から今の地へ遷座したとある。

延喜式内社とは、第六十代醍醐天皇の御代（在位897～930 延喜時代に作られた神社台帳に記載されている神社のこと

ここは、明治天皇が京都から東京へお移りになり、東海道をお通りの際、明治9年9月24日に勅使植松少将をお差し向けられ幣帛料をご献上あそばされた名高いお宮です。



御祭神 (おまつりしてある神様) は、
天照大神 (あまてらすおおみかみ) 他12柱



須佐之男命
(すさのおのみこと)



日本武尊
(やまとたけるのみこと)



大国主命
(おおくにぬしのみこと)



スタジイの実
生でも食べられる

市の天然記念物です



古木が多く、サルノコシカケがつき今にも倒れそうなものもある。

この社には、サカキ、モチノキ、ヤブニツケイ、スギ、ヒノキをはじめ、約100種の樹木や草木が混生している





佐佐木信綱先生も 産土の椎の森の歌を残されている

月ごとの朔日の朝 父と共に
まうでまつりし 産土のもり

名におへる森の大木のかげふみて
あふぎまつらふ神の恵を

川北元助翁頌徳碑



川北元助翁については、偉人伝「川北元助」をごらんください

<http://ishiyakusi44.com/culturehistory/im001/>

忠魂碑・・・英霊碑



郷土より出征、祖国、郷土のため尊い命をささげられた124柱の御霊がお祀りしてあります